

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	高齢者の自立支援・重度化防止の推進
-------------	--------------------------

現状と課題

赤平市は人口の減少、少子化が進み、高齢者人口は平成 27 年度をピークにゆるやかに減少しており、高齢者を支える若年層の減少が進む中、独居、高齢者夫婦世帯の割合は年々上昇している。家族の介護を求められない現状の中、自立した元気な高齢者を増やしていく取り組みが求められている。

又、施設及び高齢者の住まい等においても入所者の心身の機能を維持することで、QOLを高め生きがいや自己実現が可能であると考えことから重度化防止は重要なことであり、幅広い介護予防の普及啓発の必要がある。

第 7 期における具体的な取組

- ①介護予防教室の開催
- ②体力測定会の開催
- ③介護予防講演会の開催
- ④ゆる元体操指導者認定講座の開催と指導者に対するの支援

目標（事業内容、指標等）

	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
・運動教室まる元延参加者数	2,800 人	2,800 人	2,800 人
・ゆる元体操（指導者主催） 延参加者数	10,000 人	10,000 人	10,000 人
・ゆる元体操指導者認定講座 指導者登録数	52 人	60 人	70 人

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法

各事業の参加者及び受講者を計上。（但し、継続することで効果が上がる運動教室に関しては、登録者数ではなく、延べ人数とする。

ゆる元体操については、ゆる元体操指導者が指導した延件数と延参加者数を計上する。）